

地区計画を策定する理由（宇陀市）

1. 区域の概要

本地区は、県道高塚野依線、市道野依篠楽線及び市道春日野依線に接し、国道166号及び国道370号に近接する広域交通の利便性が高い地区であり、宇陀市都市計画マスタープランにおいて、都市活力向上の維持・向上のための産業基盤整備や新規産業の誘導に向けた受け皿の確保等を目指した産業ゾーンに位置付けられている。このことから、沿道の無秩序な街区の形成を防止し、周辺の自然環境・住環境との調和に配慮しつつ、工場・研究等の産業機能の立地を誘導し、あわせて、生産現場の体験・見学等を目的とした就労支援・産業観光を促進する教育・交流機能の立地を誘導することにより、雇用の創出と地域経済の活性化に寄与する地区の形成を図る。

2. 策定の理由

本地区は、宇陀市都市計画マスタープランにおいて「産業ゾーン」として位置付けられ、都市活力の維持・向上のための産業基盤整備や新規産業の誘導に向けた受け皿の確保等を目指している。

このようなことから、雇用の創出と地域経済の活性化に寄与する産業の立地と適正な土地利用を誘導し、周辺環境と調和した良好な街区の形成を図るため地区計画の指定を行うものである。